

行事参加型+子育てサロン型（乳幼児）

| | |
|----------|--|
| 学校名等 | 下呂市 子育て支援チーム |
| 実施日時 | 平成29年6月27日 |
| 会場 | 萩原町あさんず会館 |
| 参加人数 | 親子25組 |
| 学習課題（分野） | 「リトミックで楽しもう」 |
| 営者の願い | 体験講座や催し物でお母さんたちにリラックスした時間を過ごしてもらいたい。そして、その後のトークタイムでは、日々の子育てに関するちょっとした悩みや地域の育児情報の交流をすることで、お母さんたちが安定した子育てができるようにしてほしい。 |

取組の内容

家庭教育支援チームとは 社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材を活用した支援団体です。下呂市では委託事業として平成26年度に活動が開始され、子育て中の方を対象に、子育てや家庭教育に関する相談に乗ったり、学習機会を提供したりするサポート活動を行っています。文部科学省の「家庭教育支援チーム」にも登録され、地域の子育てOBや子育て中の方も活躍されています。

<実施の流れ>

- 挨拶
- リトミック
- おやつタイム
- グループ交流
- グループ発表
- アンケート
- 終わりの言葉

（講師：小島理穂 氏）

育児をより楽しくするため、子育てに音をプラスしましょう。
 *音脳リトミック=音育児
 *音楽に合わせて体を動かす事によって、心と体が発達
 *豊かな人間性
 *リトミック中は、常に声を掛ける



<取組の工夫>

おやつタイム

- ・催し物の後には手作りお菓子とお茶で、親子で一休みする時間がとられている。
- ・参加者及び請け負われた方の手作りおかし（ゼリーやカップケーキなど）を選ぶことができる。
- ・アレルギーに配慮された、安心安全なおやつが準備されている。

グループ交流

- ・6グループに一人ずつ主催者側の担当者が加わり、リーダーとして司会進行を担当した。
- ・最初に「この場で得たことは口外しない！」という交流の際の約束を確認した。
- ・以前出された話し合いのテーマ一覧を参考にし、今回話し合いたいテーマを各自が付箋に書いて出し合いグループごとに決めた。
- ・「この子のかわいいところは～」を加えた自己紹介をすることで、なごやかなムードになるようにした。

<参加者の感想>

- ・リトミックに興味があり、親子で一緒に体験することができて良かった。
- ・グループ交流では、悩みを聞いてもらいアドバイスをもらうことができてうれしかった。

<取組の成果>

- ・託児を活用してもらうことで、お母さんたちにゆったりとした気持ちで参加してもらうことができた。
- ・催し物だけではなく交流の時間を設定することで、参加者の満足度を高めることができた。



積極的な運営者の活躍

- ◎支援チームの活動を運営されているのは、過去にこの場に親子で参加されたことのある方々。現在子育て中の方や少し手が離れた方が、自身の参加経験を生かし務められている。
- ◎自分の子どもと一緒に参加する場合は、同じ会場で運営されている託児コーナーにわが子を預け、運営者側として活動に専念できるようにされている。
- ◎参加者にスタッフ募集の声を掛けるなど、支援チームの輪を広げる努力がされている。



気軽に交流できる場

- 知りたいことや聞きたいことを出し合い、交流が深まっていた。
- <当日の話題>
- Q 卒乳 Q 外遊び
 - Q スプーン・フォーク
 - Q 水分補給 Q 歯磨き
 - Q 上の子下の子
 - Q ストレス解消
 - Q 寝かし付け
 - Q おかしとごはん



安心した学びの場

会場の一部に託児コーナーが設置され、NPO団体による支援体制がとられている。